

<p>【イベント名】 第44回 APAN 会議 歯科 1</p>	<p>【概要】 障害を持つ患者の歯科治療は医師にとって挑戦である。彼らの多くが良い口腔衛生状況になく、また管理も難しい。今回のセッションではいくつかのアジアを代表する大学や病院での、援助を必要とする障害を持つ患者の治療経験について検証した。今回のセッションが成功したことは非常に喜ぶべきことであり、歯科医師の知識の強化に遠隔医療がより貢献することを期待している。</p>
<p>【期日】 2017.08.30</p>	
<p>【会場】 大連国際金融会議センター（中国）、広島大学（日本）、鹿児島大学（日本）、アイルランガ大学（インドネシア）、ハン トゥア スラバヤ 大学（インドネシア）、インドネシア大学（インドネシア）、ブラウィジャヤ大学（インドネシア）、ハラパンキタ小児医療センター（インドネシア）、国立台湾大学（台湾）、タイバー大学（サウジアラビア）</p>	
	
<p>ハラパンキタ小児医療センターの会場の様子。</p>	<p>本セッションの座長を務めたDr. Aqsa。</p>
<p>撮影場所：ハラパンキタ小児医療センター</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
<p>Face Track</p> 	
<p>提示された動画。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>インドネシア大学の会場の様子。</p>	<p>モニタに映し出される接続施設。</p>
<p>撮影場所：インドネシア大学</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>